

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 6 (2024) 年度

施設名	とちぎ明治の森記念館
施設所管課	県土整備部道路保全課
指定管理者	那須塩原市 (法人番号 8000020092134)
指定期間	令和 6 (2024) 年 4 月 1 日～令和 11 (2029) 年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	那須塩原市青木大字大輪地原27-2462外
施設の概要	<p>① 敷地面積 : 727.31 m² 建築面積 : 616.45 m²</p> <p>② 部屋数 : 居室等 12、浴室 1、台所 1、物置・納戸 (6+2) 屋根裏部屋 2、地下室 2、ホール 2 (合計 28 部屋)</p>
業務内容	<p>① 出入口鍵の開閉、日常の清掃、警備、地域情報に係る展示情報に係る一切の管理業務</p> <p>② 法定設備点検 (電気・消防) 及び定期清掃業務</p> <p>③ 設備や照明に係る電気料金及び設備に係る上下水道料金の支払業務</p> <p>④ 観覧料の徴収に関する業務</p> <p>⑤ 利用者に対する便宜に係る業務</p> <p>⑥ 地域情報に係る展示物 (資料や生活用品等の展示替え) 等効率的な利用運営業務</p> <p>⑦ 管理運営業務に付帯する業務</p>

2 収支の状況

令和 6 (2024) 年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	5,217	指 定 管 理 ※ 2	事業費	
	利用料金収入			管理運営費	4,161
	その他収入※ ¹			人件費	5,952
	合計	5,217		その他支出※ ¹	
	指定管理業務収支差額①	▲4,896		合計	10,113
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載)			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載)		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5 (2023) 年度 (前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	4,591	指 定 管 理 ※ 2	事業費	
	利用料金収入			管理運営費	4,298
	その他収入※ ¹			人件費	4,481
	合計	4,591		その他支出※ ¹	
	指定管理業務収支差額①	▲4,188		合計	8,779
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載)			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載)		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和5（2023）年度 (前年度)	令和6（2024）年度
とちぎ明治の森記念館	開館日数	330日	331日
	利用人数	10,233人	20,087人

4 サービス向上に向けた取組

- 大礼服やドレスをエントランスに飾ることで、フォトスポットとなり記念写真の場を設けた。
- ツアー等の団体客へ館内のガイドや日本遺産についての案内を積極的に行った。
- 来館者へ積極的に声掛けをし、直接的な感想などを聞くことにより、サービスの向上につなげている。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	
来館者へのアンケート調査 回答412件	
1 性別	男性 30.1% 女性 69.7% 無回答 0.2%
2 年齢	10代以下 11.7% 20～30代 21.1% 40～50代 36.9% 60～70代 28.6% 80代以上 1.7%
3 住まい	市内 6.8% 大田原市・矢板市・那須町 3.4% その他 89.8%
4 来館満足度	満足 68.7% ほぼ満足 28.6% 普通 2.7%
主な利用者意見（苦情・要望）	
・建物内に虫がいるため不快である ・多言語のパンフレットが欲しい ・飾ってあるピアノを弾けるようにして欲しい	・見回り回数を増やし、文化財を傷めない殺虫剤等で対応 ・今後、パンフレットや音声ガイド等を検討 ・以前に、調律師にみてももらったところ、壊れているとのことで、現時点では展示のみとしている。
主な利用者意見（積極的評価）	
・現在も残る洋館としてとても見ごたえがあった。 ・和室と洋室の組み合わせが素敵でした。 ・ハンナガーデンと青木邸のコントラストがとても素晴らしい。 ・入館料がお安く嬉しい。 ・綺麗なまま現存していてすごい。 ・中でコーヒー等飲食出来たら素敵。	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none">ウェディングフォトやムービー、YouTube撮影、テレビ撮影・ロケ等、館内外での撮影サービスを行い、好評をいただいている。窓口案内人と随時連絡を取っているため、アクシデントにも柔軟に対応できた。那須塩原市観光局の事業で、海外の旅行会社を対象としたモニターツアーの中で、青木邸の庭でガーデンパーティーを実施し、大変好評をいただいた。道の駅明治の森・黒磯の事業「クリスマスマーケット」では、杉並木や青木邸のライトアップによりイベントを盛り上げた。青木邸コンサートを実施し、約130人の集客があり青木邸をPRすることができた。

今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドのお客様への対応について検討が必要。 ・市外のお客様へのPRとして、那須塩原駅構内やアウトレットなど人の往来が多い場所でのPRをしたい。 ・日本遺産認定継続に伴い、日本遺産にからめたイベント等の開催等でPRしたい。 ・道の駅明治の森・黒磯を含め、HPやSNSを活用し更なるサービス向上に努めたい。

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	・適正に確保されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	—	—
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	・適切に配慮されている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	・適正に実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	・市主催事業や道の駅「明治の森・黒磯」と連携し、施設の利用促進、県民サービスの向上が図られている。	A
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	・平成27（2015）年度から満足度アンケートを実施。満足度を把握し、満足度向上に取り組んでいる。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	・適切に対応されている。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	・適切に管理されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	・道の駅「明治の森・黒磯」や観光部門との連携など、業務改善されている。	A
3. 管理を安定的に行う物的的基礎	① 組織体制は適正か。	・適正である	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	・協定上の負担とされている費用分についてマイナスとなっているが、それを除くとおおむね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	・適切に取り組んでいる。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	・適切に実施されている。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	・協定書において緊急時の対応、リスク分担表等を定め、適正に確保されている。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	・随時連絡を取り合い、適正な連携体制がとられている。	A
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	・適正に実施されている。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	・文書等の開示に関する規定を制定し、適切に対応している。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	・適正にされている。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	・適正に実施されている。	B

	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	・青木邸コンサートを実施するなど、地域との連携が図られている。	A
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ごみ削減等）がなされているか。	・適正に配慮されている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	—	—
総合的な評価			
<p>・施設の管理運営については、館内の整理整頓や清掃、設備点検、簡易修繕を行うなど、適正に実施されている。また、施設の管理に関する各種報告や協議等も迅速に行われている。</p> <p>・臨時職員による青木邸及び那須野が原の開拓史等の解説は、同邸の歴史的価値等の理解促進に欠かせないものであり、引き続き、利用者の満足度向上を図ること。</p> <p>・令和6年度は、リニューアルオープンした道の駅「明治の森・黒磯」や観光部門との連携により、利用者の確保に取り組み、前年度と比較して利用者数が大幅に増加した。</p> <p>・今後も、適正な管理運営を維持・継続するとともに、施設のPRの充実及び魅力向上など、より一層のサービス向上を図ること。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A : 事業計画に対して優れた取組となっている。
- B : 事業計画どおりの取組となっている。
- C : 事業計画に対して劣る取組となっている。
- D : 事業計画に対して著しく劣る取組となっている。